

災害対策業務に従事した会員業者 (49社延べ3,237人)

■萩支部 (7/29～8/7)

業者名	人数	ダンプ	バックホウ
(有)河野組	37	20	17
(株)北浦建設	168	89	114
協和建設工業(株)	870	301	193
黒瀬建設(株)	28	0	0
(株)小橋組	35	14	3
澤田建設(株)	42	14	6
三栄建設(有)	9	3	3
(有)重村建設	20	10	3
指月建設(株)	115	18	54
(有)新川(松村組)	18	6	0
(有)西村建設	9	3	3
萩土建(株)	36	17	21
波多野建設(株)	8	1	0
藤本工業(株)	18	6	6
松村建設(株)	97	34	33
(有)山中組	27	15	8
(有)内田	15	7	5
(有)白石組	30	8	10
(有)横正組	34	11	8
(有)横山建設	15	6	6
(有)吉崎組	129	68	44
(有)弘建設	40	16	12
(有)吉本建設	42	22	25
豊田建設(株)	212	60	52
(有)松原	118	39	46
(有)大玉建設	6	2	1
(有)大津土木	6	3	0
(有)木原建設	12	6	3
(有)林造園	6	3	3
(有)金子建設	35	12	10
大興土木(株)	32	14	8
阿武建設(株)	27	6	0
小田建設(株)	24	7	6
小田産業(株)	23	13	12
(有)吉岡土建	51	48	22
(株)長松工務店	12	3	3
(有)西日本工業	12	3	3
日進電気工事(株)	12	3	3
萩市水道事業企業組合	9	3	3
服部産業(株)	12	3	3
合 計	2451	917	752

■山口支部(阿東地域)(7/28～8/6)

業者名	人数	ダンプ等	バックホウ
(有)岸田組	120	2	2
金子建設(株)	12	13	9
(株)武田組	70	37	18
(有)岡村建設	15	5	5
(有)阿武組	12	2	1
(株)雪矢重機	60	8	4
(株)三戸建設	76	1	7
池田建設工業(株)	380	148	124
(株)吉岡組	41	6	4
合 計	786	222	174



護岸の復旧作業 (萩支部)



道路の復旧作業 (山口支部 [阿東地域])

■橋梁の流出 農地の冠水：
豪雨は大きな
爪痕を残した

線路の橋梁流出が発生したのは計3箇所。平成25年12月現在でも山陰線須佐駅～奈古駅間、山口線地福駅～津和野駅間において、復旧作業が進められています。



護岸の復旧作業 (萩支部)



道路の復旧作業 (萩支部)



道路の復旧作業 (萩支部)

社計2451人、山口支部(阿東地域)から9社計786人、延べ3237人に及びました。

近年頻発する豪雨災害。より迅速な現場の対応ができるよう、さまざまな協定が結ばれるとともに、ライフラインとなる道路や橋の補強も進められています。



道路の復旧作業 (山口支部 [阿東地域])

■ライフラインの途絶により
孤立集落が発生

県内では、阿武川流域、田万川流域、須佐川流域に設置された水位計のうち、氾濫危険水位を超えたのは計6箇所、河川沿いに位置していた線路や道路のライフラインが寸断され、孤立集落が発生しました。

山口市阿東嘉年下にある県の野外活動施設「十種ヶ峰青少年自然の家」や近くの民間のキャンプ場で、小学生など約200人が取り

残されたほか、萩市上小川の特別養護老人ホーム「阿北苑」の入所者や職員など約80人、小川小学校と公会堂に避難していた約35人が一時孤立状態になり、自衛隊のヘリコプターで救助されました。

■被害の状況(山口県内)

被害集計：8月6日17時00分
山口県防災危機管理課調べ

人的被害

死者：萩市2名
行方不明者：萩市1名
負傷者：10名

住家被害

全壊：47棟 半壊：66棟
床上浸水：665棟
床下浸水：594棟

その他

停電：9,350戸(山口市、萩市、阿武町、柳井市)
【全戸7/30までに復旧済】
断水：1,224世帯(山口市)、1,200世帯(萩市)、90世帯(阿武町)【うち1,161世帯は8/5までに復旧済】
道路：【通行規制】県管理道23カ所(全面通行止め18ヶ所、片側交互通行5ヶ所)
国道9号2箇所(うち7/28規制解除、7/29片側交互通行)、国道191号線1箇所(8/5片側交互通行)
鉄道：【JR山口線】終日運転見合わせ(地福駅～益田駅)
【JR山陰本線】終日運転見合わせ(益田駅～奈古駅)



特集見聞

聞く！語る！

平成25年7月、山口県と島根県の県境を中心に襲った猛烈な雨は、広い範囲に洪水や土砂災害をもたらした。

7月28日の日本付近は大気の状態が非常に不安定であったことに

平成25年7月28日、山口県・島根との県境を中心に大雨が降り、山口市では1時間あたり143ミリ、津和野町では24時間での降水量が381ミリと、それぞれ県の観測史上最大の降水量を記録する猛烈な雨となりました。

加えて、対馬海峡から山陰方面に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、山口県付近で大雨が発生しやすい状況になりました。

山口県付近には28日朝から昼過ぎにかけて発達した雨雲が次々と流れ込み、北部や中部の一部で猛烈な雨が発生。県境に位置する中山間地で、洪水被害や土砂災害をもたらし、山口県内では人的被害が死者2人、行方不明者1人。住宅、建物被害(全壊数十半壊数)は113戸(山口県HPより)にも及びました。



洪水により削り取られた護岸の復旧 (山口支部 [阿東地域])

■雨の状況

下関地方気象台 「災害時気象資料」(7月28日の山口県の大雨について、8月1日付)

要素	年の順位	地点	降水量	起時
1時間降水量	1	山口(山口市)	143.0	7/28 8:13
	1	須佐(萩市)	138.5	7/28 12:04
	4	徳佐(山口市)	66.0	7/28 10:00
	1	須佐(萩市)	301.5	7/28 12:20
3時間降水量	1	山口(山口市)	249.5)※	7/28 8:40
	1	徳佐(山口市)	157.5	7/28 10:00
	1	須佐(萩市)	351.0	7/28
	1	徳佐(山口市)	324.0	7/28
日降水量	3	山口(山口市)	254.5	7/28

※ 統計期間10年以上の地点で、5位以内を対象。
7月の月降水量の平年値は、須佐(萩市)が281.6ミリ、徳佐(山口市)が318.7ミリ。
)は観測結果にやや疑問がある、または統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている値です。
必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

災害復旧活動に尽力！初動10日間で萩・山口支部の会員企業49社延べ3237人参加